

令和5年度・事業報告書

ANNUAL REPORT



皆様のご支援、応援で、
こどもたち一人ひとりが笑顔で過ごせる時間・場
所・環境を今年度も継続して提供できることが出
来ました。



令和5年度 事業報告書

特定非営利活動法人ところ

▶事業実施期間: 令和4年10月1日～令和5年9月30日

▶総括:

●法人運営)理事の辞職に伴って、新体制となりました。複合機のリースの終了に伴って、ペーパーレス化を図り、稟議・決裁についてもWEB上でいつでも、どこでも見れるようになり、業務の効率化を図ることが出来ました。またオンライン会議システムを活用した理事会を毎月定例開催したことによって、理事間のコミュニケーションについても、活発になりました。今年度は、助成金の申請を積極的に行いました。また、「AMAZONみんなで応援プログラム」や「こどもサポート証券ネット」などにも登録し、温かい継続したご支援を頂くことが出来ました。

●フリースペース事業)地域の公民館での活動が定着し、公民館の空き地を活用した「コミュニティ農園」も、公民館やお隣の平野区老人福祉センター利用者にとっても憩いの機会になっていました。こどもたちの参加率も増え、積極的に「畑するわ」などのコメントも見られるようになりました。利用者が増えていないことは課題ですが、少人数ならではの良さを活かしながら活動を継続したいと思います。

●地域の居場所づくり・イベント企画開催事業としては、まず移動式フリースクールところ(都島・岸和田)が事業の整理で解消となり、都島での活動は、月1回平野区民ホールでの活動に。岸和田での活動は、こども食堂に、形を変えることになりました。(岸和田の活動は、8月で終了となりました)毎夏恒例となった八尾市生涯学習センターかがやきとの共催で開催している「居場所みんぐるっ子」も今年も2回開催することが出来、リピーターも多く参加してくれています。また、昨年度より自然体験活動！！と位置づけている「ディキャンプ」も八尾市生涯学習センターかがやきと共催で実施することが出来ました。ディキャンプはアクトランドYAOや、社会的居場所わかごぼう、YONkitchenの協力もあり実施することが出来ました。




今事業年度も、色々な方々に助けて頂き活動を実施することが出来ました。お礼と感謝を申し上げます。

1・各部門報告

1-1 フリースペース事業

事業名	自立支援型フリースクールところ
内容	療育プログラムの実施(畑活動・工作・外出企画など)
場所	たちばな会館
実施日時	毎週火曜日11:00～15:00
対象	学校に行きづらい小学生・中学生

活動の様子



			
制作活動	メロンの収穫！	草抜き！	水やり

1-2 地域の居場所づくり事業

事業名	都島▶移動式フリースクールところ都島 ⇒4月以降)平野区にて「木曜日開所」に変更 岸和田▶ここから食堂withところ
内容	都島▶フリースクール ⇒4月以降)平野区にて木曜日開所として同じ内容 岸和田▶こども食堂

場所	都島▶友渕集会所 ⇒4月以降)市立平野区民ホールにて 岸和田▶ころころはうす(NPO法人ここからkitと共催)
実施日時	都島▶10月から3月まで 第3木曜日 13:00~16:00 ⇒4月以降)第3木曜日 13:00~17:00 岸和田▶10月にプレオープン 11月~8月まで 第3日曜日11:00~15:00
対象	都島▶小学生・中学生 岸和田▶どなたでも

活動の様子

			
クッキング ~ホットプレートでクッキーづくり~		体験型学習支援 ~かたつむり製作~	

2 障がい児相談支援事業 事業廃止

3 イベント企画開催事業

3-1

- ・事業名 里山体験
- ・内容 大阪信用金庫スマイル基金助成事業で実施。
- ・場所 京都府祝園駅近くの田んぼ
- ・実施日時 令和4年10月1日(土)
- ・対象 小学生・中学生

3-2

- ・事業名 みんなぐるっ子
- ・内容 夏に実施予定だったが、八尾市生涯学習センターかがやきの工事が延期となり休館期間が伸びたため、冬休みの実施となった。①割りばし鉄砲 ②サンドアート
- ・場所 八尾市生涯学習センターかがやき 陶芸室
- ・実施日時 令和4年12月27日(火)
- ・対象 小学生・中学生

3-3

- ・事業名 ロープワーク講座
- ・内容 公益財団法人さわやか福祉財団「地域助け合い基金」助成事業として実施。
- ・場所 たちばな会館
- ・実施日時 令和5年3月22日(火・祝)
- ・対象 地域の方どなたでも 講師)藤永正一様(防災士)

3-4

- ・事業名 第1回 絵の本ひろば
- ・内容 公益財団法人さわやか福祉財団「地域助け合い基金」助成事業として実施。
- ・場所 たちばな会館
- ・協力 八尾で絵の本ひろば広げようの会
- ・後援 大阪市教育委員会
- ・実施日時 令和5年5月28日(日)

・対象 地域の方どなたでも

3-5

・事業名 ディキャンプ

・内容 「大阪府福祉基金地域福祉振興助成事業」として、実施。クラフト活動として、竹の水鉄砲を作成。水あそびを楽しんだ。熱中症警戒アラートが発出されていたので、参加人数は少なかったが、和室とキャンプサイトを行き来しながら楽しんだ。

・場所 八尾市立大畑山青少年野外活動センター(アクトランドYAO)キャンプサイト&和室

・実施日時 令和5年7月18日(火)

・対象 学校に行きづらい小学生・中学生

3-6

・事業名 ディキャンプ! 青空クッキングと、水風船あそび

・内容 野外クッキング(焼きそばパンづくり・フルーツポンチ)と水風船あそび

・場所 八尾市立大畑山青少年野外活動センター(アクトランドYAO)キャンプサイト&和室

・実施日時 令和5年7月27日(木)10:30~15:30

・共催 八尾市生涯学習センターかがやき

・協力 YONkitchen

・対象 小学生・中学生

3-7

・事業名 みんぐるっ子

・内容 8月8日:クッキング(恐竜たまご・ピザトースト)、きらきらスライム、

8月10日:算数マジック、ステンドアート風キーホルダー

・場所 八尾市生涯学習センターかがやき 調理室・陶芸室

・実施日時 令和5年8月8日(火)、8月10日(木)

・共催 八尾市生涯学習センターかがやき

・協力 YONkitchen

・対象 小学生・中学生

3-8

・事業名 多世代!夏あそび!

・内容 公益財団法人さわやか福祉財団「地域助け合い基金」助成事業として実施。

・場所 たちばな会館 ホール

・実施日時 令和5年8月22日(火)

・協力 平野区老人福祉センター(ひらりん)

平野区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター、生活支援体制整備事業

・対象 地域の方どなたでも。

3-9

・事業名 お絵かきマグ体験!オリジナルマグカップを作ろう!

・内容 「大阪府福祉基金地域福祉振興助成事業」として、実施。

・場所 舞洲クラフト館

・実施日時 令和5年9月16日(土)

・対象 学校に行きづらい小学生・中学生


活動の様子(掲載出来ないイベントもあります)

たくさんの機関・団体と連携して取り組みました。

学校に行きづらい子どもだけではなく、地域の子どもたちも笑顔や

楽しく過ごせる時間を提供することが出来ました。

イベントを通じて「学校に行きづらい」に対して、サポートしている団体があることや地域が温かく見守っていることなどの理解が深まった。

			
絵の本ひろば①	絵の本ひろば②	ディキャンプ	居場所みんぐるっこ①
			
居場所みんぐるっこ②	居場所みんぐるっこ③	多世代！夏あそび！①	多世代！夏あそび！②

2・社員総会の開催状況

開催日時	出席社員数	開催場所	内容
令和4年12月13日	13名 (委任状出席:7名)	オンライン開催(ZOOM)	事業報告書・事業決算
令和5年2月22日	14名	みなし総会	役員変更
令和5年3月29日	14名	みなし総会	役員再任 (任期誤認による任期超過のため)

3・理事会その他役員会の開催状況

開催日時	出席理事	開催場所	内容
1月19日	尾崎・齊藤	齊藤自宅	理事就任について
2月22日	尾崎・坂本・齊藤	オンライン会議システムZOOM	理事の互選について
2月25日	尾崎・坂本・齊藤	オンライン会議システムZOOM	PDCA会議・情報共有等のオンライン化・予算・10周年に向けて 各理事より報告・稟議決裁事項の確認
3月11日			各理事より報告 稟議・決裁事項の確認 ロープワーク事業の確認
4月8日			各理事より報告 稟議・決裁事項の確認 木曜日開所について
5月13日			各理事より報告 稟議・決裁事項の確認
6月10日			各理事より報告 稟議・決裁事項の確認
7月8日			各理事より報告 稟議・決裁事項の確認
7月25日			7/27のディキャンプ前の確認(前日準備の流れ等)
8月12日			各理事より報告 稟議・決裁事項の確認

9月9日		各理事より報告 稟議・決裁事項の確認
------	--	--------------------

フリースクールところ	グリーンフィンギ(朝礼・夕礼) 活動日に実施しています。	○朝礼→その日の予定や 注意事項等を共有 ○夕礼→振り返り、気づき の共有等	参加者:施設長、リーダー、 ボランティア
------------	---------------------------------	---	-------------------------

4・その他

4-1 大阪市地域公共人材

前年度から派遣頂き5回中残りの4回目、5回目を当事業年度に実施しました。好事例と評価して頂き、地域公共人材の交流会で事例発表されました。

依頼経緯:利用者増加を考えるにあたり、広報活動に注力する必要があると理事会で結論が出ましたが、法人内に第一ツールであるホームページの改修に関する技術・知識、及び広報に関するノウハウがなく、独自に学んでホームページ改修・広報を行うには時間・リソースの余裕がないため、大阪市にて専門知識を有した人材の派遣を行う事業を利用することとなりました。

第4回目	令和4年11月8日	プレゼンテーションに向けての事例紹介
第5回目	令和5年1月17日	学んだことの振り返り 人材さんと事務局さんにところのプレゼンテーションをする。

全5回の人材派遣を受けて、他団体のホームページの作成例やCANVAを使った広報物の作成方法、広報に関する基本的な知識・技術を学ぶことができました。この経験を元に、ホームページ改修を進めています。



事業計画

2023年10月1日～2024年9月30日

特定非営利活動法人 ところ

次年度 ところ発足から10年

地域に根ざしたこども・若者たちの居場所提供のために当法人を興し、月日は流れ、2024年10月を以てところは10周年を迎えることとなります。これまでお世話になった個人・団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

目標

本年度は、以下の内容を考えています

1. 記念誌の作成

ところは様々な個人・団体によって支えられてきた法人です。厚く御礼申し上げます。現在も様々な御縁があります。10年間ところが他団体や地域、子どもたちに関わってきた結果、子どもたちにどのような成果をあげられたか、これからどのように居場所を継続していくかを形のあるもので共有・振り返るべく、記念誌の発刊を計画しています。皆様に、寄稿のご依頼をさせていただきます。メッセージをお待ちしております。

2. 広報体制の見直し

昨年度に引き続き、利用者増加を狙い、法人HPのブラッシュアップ、広報チラシの一新にも取り組んでいきます。

3. フリースクール事業予算の設定

これまではフリースクール事業の必要物資は必要になった際に都度購入で賄ってきましたが、支出が無制限に増えていくという問題点があるため、月予算を設定することにより、月間支出の削減を図っていきます

各事業について

項目	内容
フリースクール事業 (フリースクールところ)	<p>畑活動は今年度も豊作であり、作物の持ち帰り、地域の皆様におすそ分けを行えるほどとなりました。また、参加率の上昇にもつながりました。そしてコロナウイルス感染拡大の影響で見合わせていた外出活動も再開できました。</p> <p>学習用端末を用いて、作物や興味・関心のあるものの調べ学習も引き続き取り組みます。</p>

	また、事業利用期間満了後もところに係る事業整備として、交流などができるように下準備を行う予定です。
夏休み居場所事業 (みんぐるっこ・デイキャンプ)	前年度は、夏休み期間にデイキャンプ・みんぐるっこを計3日程開催しています。直前に病気によるスタッフの欠員により、デイキャンプは十全な開催とはなりませんでしたが、参加者には楽しんでいただけた内容となりました。 その中で、熱中症対策など時期的な課題や、荷物の搬入出等課題も残りました。次年度は、課題の解決を図りながら、みんぐるっこに取り組みたいです。
岸和田居場所事業 (オルオル)	赤い羽根共同募金の助成を受けて、令和6年3月まで岸和田市市民活動サポートセンターにて「オルオル」を開催します。
相談支援事業所	本年度より相談支援事業をスタートすることになりました。物件は契約済みの状態で、2023年12月より始動となります。

・その他事項

昨年度開催したコミュニティ農園、絵の本ひろば(令和6年5月頃開催予定)を今年度も継続して開催していきたいと思っています。Fan to Funの位置づけとして、ご支援いただいている方も楽しめる取り組みを実施していきます。

事業戦略について

セールスポイント▶

法人全体→いい意味で支援サービスらしくない点があり、柔軟性を持って動けるため、少人数に特化したサービスを提供できる。

FS事業→多種多様なプログラムを体験でき、畑活動や工作、外出企画と内容も充実している。プログラムも事業が少人数制のため、利用者の希望が反映されやすい。

相談支援事業→FS事業で培った経験により、こどものケースに強い。事業のメイン層であるこどもを対象とした相談事業は本事業のみ

戦略▶

法人全体→支援者・受益者に向けて、地域向けのイベントとして絵の本ひろば等のイベントやHPの公開を行う。本年度製作予定の10周年記念誌も認知度アップを期待できる。事業利用期間満了後も利用できるサービスの提供準備を行う。チラシ配布の新たな設置先を開拓する。

FS事業→事業継続のため、利用者の確保を行う。ところだけが拠り所とならないよう、アフターフォローを行っていく。小集団向け療育プログラムとして事業展開していく

相談支援事業→こどもに特化した相談支援事業として売込をかけ、事業継続につなげる。

不登校を取り巻く市場・環境▶

法人全体→不登校特例校の開設や市の教育支援センターや適応指導教室等の行政サービスが手厚くなった。

FS事業→来所・訪問・オンラインなど多種多様な学びの機会がある。

相談支援事業→平野区はセルフプラン率が高く、メイン層であるこどもよりも成人・高齢者が多い。

戦略に対してどう動くか▶

広報資源をどう広げていくかが課題

⇒チラシのサイズ縮小、商店や企業に広報物設置のはたらきかけや、イベント(地域の縁日など)での配布

* 関係するところをピックアップしながら並行して障がい児相談支援、市役所にチラシ郵送を行う。

(そこから口コミでの情報拡散を狙える)

上記を行うために関係性作りが必要になる。

令和 6 年度 収支予算書

特定非営利活動法人ところ

収入の部

項目	金額	備考
会費	¥13,000	正会員費¥1,000*13名
フリースクールところ利用料	¥132,000	材料費込みの事業利用料*11か月分（昨年度実績より計上）
相談支援事業	¥3,479,410	年間プラン単価（契約人数：50名） モニタリング（3か月に1回で試算）
助成金	¥200,000	
小計	¥3,624,410	
前期繰越金		
合計	¥3,624,410	

支出の部

項目		金額	備考
固定費	たちばな会館利用料	¥88,000	1ヶ月平均単価2000円*4回*11ヶ月分
	法人事務所使用料	¥73,920	使用料(¥5,000)+宅配便+郵便転送手数料*12ヶ月 (宅配便と郵送転送手数料は概算)
	相談支援事務所家賃	¥420,000	家賃¥35,000*12か月分
	小計	¥581,920	
雑費	フリースクール事業材料費	¥33,000	月予算¥3,000*11ヶ月
	相談支援雑費	¥60,000	月¥5,000*12か月
	小計	¥93,000	
変動費	光熱水費	¥120,000	月間¥10,000の見積もり*12か月
	通信運搬費	¥26,880	スカイプ通話費(¥2,400+¥24,480)/年間
	小計	¥146,880	
人件費	役員報酬	¥600,000	月¥50,000の見積もり*12か月
	社会保険料	¥96,000	月¥8,000の見積もり*12か月
	小計	¥696,000	
返済費	長期借入金返済金	¥2,106,610	
	小計	¥2,106,610	
予備費	予備費		
合計		¥3,624,410	